

〔擬木（中木WD-102）の製作工程〕

（※中木WD-102は、定番商品です。）

FRP成形した擬木の幹に、転倒しないよう自立用の底板を固定します。
設置時に、アンカーで床に固定します。
（右写真は底板と芯材をFRP擬木に固定完了）



全体の見栄えを確認しながら、別に成形しておいた枝の取り付け角度を決めます。
それに合わせて枝元との取り付け部分を補修成形します。
（左写真は角度合わせ作業）

枝に仕上げ塗装を施し、枝元に差し込み取り付けのために芯材を入れておきます。
（右写真は枝の仕上げ塗装、芯材固定完了）



幹、枝ともに仕上げ塗装を施し、枝を仮取り付けして全体の枝ぶりを再度確認します。
枝は、一旦取り外し、製品を現場へ搬送します。
(右写真は製品完成)



現場で組み立て、設置します。
頭頂部も天井に固定します。
根元は、植栽樹や什器を置き、底板を隠します。
(左写真は設置完了。)



葉の代わりに、ツル植物造花を巻き付けることにより様々な演出が出来ます。
(お好みにより小枝・葉を特別注文で製作可能)
(右写真は一例:製品は上記までの中木WD-102とは異なります。)